

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
熊本市都心部地区

平成25年7月

熊本県熊本市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	熊本城入場者数	人/年	825,807	1,000,000	1,600,000	確定 見込み ●	○	あり なし	1,589,925	H24年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	熊本城本丸御殿復元整備事業、桜の馬場観光交流施設(城彩苑)整備事業などの効果により入場者数は目標値を大幅に超えた。
指標2	商店街歩行者通行量	人/日	248,509	275,000	229,000	確定 見込み ●	△	あり なし ●	229,260	H24年10月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値は下回ったが、裏通りなど、歩行者通行量の増えた地点もみられ、中心市街地活性化推進事業等の効果が認められる。
指標3	計画区域内居住人口	人	33,820	34,000	33,700	確定 見込み ●	△	あり ● なし	34,200	H24年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	浸水解消対策整備事業、セーフティ下水道事業等の実施の効果と、計画区域内に集合住宅が建設されたことから、目標を達成した。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	城彩苑入場者数	人/年	-	1,088,069	確定 見込み ●	/	/	/	1,438,731	H24年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	H23年3月の開業より7ヶ月で年間目標の100万人を達成し、本市の新たな観光スポットとして、都心部地区の賑わいの創出に寄与している。
その他の数値指標2	市電利用者数	人/年	9,052,922	9,536,782	確定 見込み ●	/	/	/	10,194,381	H24年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	路面電車優先信号整備事業や市電軌道敷緑化事業、150円均一料金の導入等の効果により、利用増加につながった。
その他の数値指標3	熊本城周遊バス「しろめぐりん」乗客数	人/年	53,810	82,145	確定 見込み ●	/	/	/	169,790	H24年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	熊本城築城400年記念事業終了後も安定した乗客数を保っており、観光客の足として根付いたと考えられる。
その他の数値指標4	熊本博物館プラネタリウム観覧者数	人/年	39,453	30,137	確定 見込み ●	/	/	/	91,010	H24年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	リニューアル期間中は観覧者数が減少したが、H23年3月のリニューアル後は多くの観覧者が来場した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	熊本城の魅力を発信	・熊本城を中心としたイベントの継続開催 ・熊本城の復元整備の継続 ・観光案内版の整備	・熊本城を観光の目玉として整備するとともに、魅力的なイベントを開催することによって、多くの賑わいが創出された。	熊本城への関心を一過性のものに終わらせないために、魅力あるイベントを継続的に打ち出し、内外にPRする。また、熊本城と城彩苑の回遊性の向上を図る。
	誰もが暮らしやすい居住空間の創出	・浸水対策事業の継続実施 ・地区内の居住促進に向けた事業の継続実施(道路整備、街路事業、屋上緑化への助成事業、公園の整備)	計画区域内の居住環境が改善された。	計画区域内への大型集合住宅の建設は、今後多くを望めないため、区域内の生活環境の向上を更に進め、居住人口の安定化を図る。
	中心市街地の賑わいの回復	・中心市街地活性化基本計画の推進に努めた	産・学・行政の連携により賑わいのあるまちづくりを推進した結果、少しずつではあるが、中心市街地に賑わいが戻った。	今後も、継続して産・学・行政の連携により賑わいのあるまちづくりを推進する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	中心商店街の更なる賑わいの創出	・熊本城・中心商店街が一体的に行うイベントの開催	魅力あるイベントの開催により中心市街地ににぎわいの創出につながったが、熊本城で創出した賑わいを十分に回遊させるにはいたっていない。	熊本城で創出した賑わいを中心商店街に回遊できるように、観光客をひきつけるイベントの開催、及び中心商店街の整備を行う。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

産・学・行政の連携による、賑わいあるまちづくりを促進する。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項